

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : The University of British Columbia

留学期間 : 平成 28 年 8 月 19 日 ~ 平成 29 年 4 月 18 日

まず留学中の生活について、述べていきたいと思います。今回の留学が初めての海外生活だったので、何から何まで慣れないことばかりだったのですが、その分得たものも大きかったと思います。まず学習面ですが、留学中は大半の時間を勉強に費やしていました。もともと英語がそこまで得意ではなかった上、授業で出される課題の量が日本で受けていた授業とは比べ物にならないほど多かったので、平日はもちろん週末も授業の予復習や課題に明け暮れる日々を送っていました。留学先の大学では授業内でのプレゼンを課されることもたびたびあったのですが、日本ではあまりプレゼンをする機会がなく、英語日本語問わず人前でプレゼンをするということ自体に慣れていなかったため、プレゼンのやり方なども留学で初めて学ぶことになりました。講義中に周りの学生とのディスカッションを求められることもしばしばで、日本とは全く異なった授業形態に戸惑いながらも、勉強熱心な現地の学生に刺激を受けていました。

留学中は大学内にある寮で共同生活を送っていました。私が滞在していた寮は 6 人部屋で、キッチンやトイレなどをルームメイトと共用していたのですが、様々な国から集まっており、生活習慣や感覚が人によって異なる中で、お互いが快適に過ごすためにどうすべきかを考えなければなりません。しかし、共同生活を通して出身国によって生活習慣にどのような違いがあるか観察できたことはとても興味深いものでした。寮生活や授業に限らず、他の学生との交流の場を広げるためにクラブや大学内で行われるイベントには積極的に参加するようにしていました。そうして出会った現地の学生や他の国からの留学生とは互いの文化を教えあったり、ときには一緒に出掛けたりと、多国間の交流の中でかけがえのない時間を過ごすことができました。二学期からは、ストレス解消もかねて大学の近くにあった合気道の道場に通っていました。日本では合気道をしているという、合気道とは何か聞かれることがほとんどなのですが、バンクーバーでは市内にいくつも道場があるほど合気道が盛んで、日本ではあまり知られていない武道が遠く離れたカナダで多くの人に受け入れられていたことは意外でした。現地の合気道家の方はとても真剣に稽古されていて、あまりの熱心さに合気道発祥の国から来たこちらが刺激を受けるほどでした。

次に留学の成果について述べたいと思います。今回の留学には自分の視野を広げるという目的がありました。留学までは日本から出たことがなく、日本の価値観や考え方が知らなかったため、他の国の考え方や価値観を学ぶことで、海外から日本がどのように見えるのか知りたかったです。かなり抽象的な目的なので具体的な成果は測りにくいのですが、留学前後で日本のとらえ方が明らかに変わりました。たとえば留学前は、日本人は几帳面で時間に正確だといわれても、日本しか知らない身ではあまり実感がわきませんでした。しかしカナダと日本を比較してみると、何事にもおおらかなカナダとは真逆で、何事に対して

も完璧に仕上げようとする傾向がある国だと思いました。長期の留学生活で得た知見を通して、日本の長所、短所を知ることが出来たことは留学の成果だと思っています。

この留学経験を活かし、今後は日本にいる留学生の支援や、留学生と日本人学生との交流に取り組みたいと思っています。留学は自文化とは異なった価値観や考えを学ぶことのできる素晴らしい機会だと思いますが、一方で海外で長期間生活することは決して簡単なことではなく、私自身留学中は日々トラブルの連続でした。留学生への支援活動を通じて、日本に興味をもって留学に来た学生の悩みや苦しみを少しでも軽減する力になりたいと考えています。また、今回の留学経験を進路選択にも生かし、将来は海外での勤務や、海外と直接つながっていただける仕事をしたいと考えています。

私の留学経験から今後留学に行かれる方へアドバイスできるとすれば、出発までリスニングとスピーキングの練習を怠らないこと、臆せず積極的に現地の学生と交流すること、ストレスを解消できる手段を見つけておくことをお勧めします。留学先の言語が何であれ、現地で生活するとなれば最も使う機会が多いのはリーディングやライティングよりもリスニングとスピーキングです。まず現地で生活することを一番に考えた準備を日本でしていくほうが、海外生活は楽しめると思います。

また、せっかく留学に行くのですから、学校内に限らず現地でネットワークを広げておいたほうがそれだけ色々な情報が集まるので、留学先の生活にも溶け込みやすくなると思います。そうはいつても、留学中は日本とは違い、今まで頼ってきた人に頼ることもできず、何かとストレスがたまりやすくなるので、留学先でもストレスを解消できることを渡航前に見つけておくとういと思っています。